

事業所における自己評価結果（公表）令和3年度

公表：令和4年3月14日

事業所名 未来サポート Challenge

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	1	0	・学習室とプレイルームを設け、お子さまたちが過ごしやすいよう工夫しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	4	3	1	・児童 10 人に対し、指導員 2 人という国の人員配置基準に加え、加算要件を満たす人員配置を行っておりますが、質の高い支援を行うためには、適切な配置数とは言えません。今後も継続して、職員数の確保と専門性の向上を目指していきます。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	2	0	・トイレや階段には手すりを設置し、必要に応じて見守りや介助を行っています。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3	5	0	・その日の活動内容やお子さまたちの様子について、職員間で話し合いながら、次の目標を設定していますが、短時間勤務の職員との情報共有が課題です。職員全員が意識を統一できるよう、振り返りの時間の確保に努めています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	1	0	・年に 1 回、保護者等からの事業所評価アンケートと、自己評価アンケートを実施し、結果をホームページにて公表しています。第三者評価については、必要に応じて実施していきます。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	2	0	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	4	1	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	3	0	・コロナ禍のため、外部研修の機会はほとんどありませんでした。 ・新人研修は行っていますが、その他の職員も、それぞれ自己研鑽できる環境を整えることで、支援の質の向上に努めてまいります。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	1	0	・ご利用に際しての見学や契約時の面談は必ず行い、ニーズと課題を把握し、個別支援計画を作成しています。 また、発達検査の結果等でも発達状況を把握し、計画作成に生かしています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	2	1	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	2	0	・活動内容や支援の仕方について、プログラム作成時・活動終了時に話し合い、共通の目標を持って取り組むことを目指しています。 ・運動・手指・社会性など、週によって課題を設定し、お子さまの発達に合わせた、段階的なプログラムの設定をしています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	1	0	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8	0	0	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	0	0	・その日の活動内容、職員の配置場所、ねらい等を活動計画に書き込み、職員全員で必ず確認し、支援をしています。 終了後には、気付きを記録する他、支援方法を振り返り、声掛けや課題設定の改善に努めています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	0	0	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	4	0	
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	0	0		

	⑱	定期的にモニタリングを行い放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	1	0	・概ね6ヶ月に1回、モニタリングを実施しています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	7	1	0	・陶芸教室や出張美容室などを実施し、地域との交流の機会を設けています。また、将来、余暇を充実して過ごせるよう、自由時間の声かけを大切にしています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	2	0	・管理者が参加している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7	1	0	・保護者を通して、情報を得ています。また、送迎時に担当教員と申し送りを行っています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	5	3	0	・現在該当者がおらず、受け入れ体制もありません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6	2	0	・同施設内の児童発達支援事業所を利用されていた方については、情報共有ができています。その他のお子さまについては、必要に応じて情報共有を行っています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6	2	0	・同施設内の障害福祉サービス事業所へ移行させる方については、情報共有ができています。その他のお子さまについては、必要に応じて情報共有を行っています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	4	1	・今年度は機会がありませんでしたが、必要に応じて連携していきます。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	5	3	・個人情報やプライバシーの面、コロナの影響等により、現在交流の機会はありません。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	5	3	0	・担当者が毎回参加しています。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	0	0	・電話や連絡帳のやり取り、また送迎時に様子をお伝えしています。保護者の方が気軽に相談できる事業所となるよう努めます。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	5	0	・ペアレントトレーニングのプログラムは行っていませんが、面談等でお話をする際には、対応方法などのアドバイスを行っております。
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	0	0	・契約時や面談時に説明を行っております。また、記載事項の変更については、随時書面にてお伝えしていきます。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じた必要な助言と支援を行っているか	8	0	0	・保護者の方からのご要望があれば、時間を設けてゆっくりお話をさせていただいております。気軽に相談していただけるような場所となるよう、努めてまいります。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7	1	0	・コロナ感染予防のため、日程を2日に分け、少人数にて実施しました。また、保護者の方からのご要望により、家族間交流の場の提供も行ってまいります。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	1	0	・苦情があった場合には、すぐに施設長に報告し、迅速に対応するとともに、職員全員に周知する等、再発防止に努めてまいります。
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	2	1	・陶芸や出張美容室などの行事予定や、長期休みのお迎えなどについては、その都度お知らせを配布しております。

	③⑤	個人情報に十分注意しているか	7	1	0	・職員全員に徹底しています。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	1	0	・状況に応じて、言葉、絵、文字などを使い分け、より伝わりやすくなるよう工夫しています。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	4	0	・法人全体で、地域の方にも参加していただける「きぼうまつり」を毎年開催していましたが、コロナの影響により今年度は実施できていません。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	2	0	・職員間では周知しているが、保護者の方にはお知らせしていないため、今後周知できるよう工夫してまいります。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	1	0	・今年度は10月に火災訓練、11月に地震訓練を実施しました。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	1	0	・外部の研修に職員が参加したり、職員会議にて内部研修を行っています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	3	1	・身体拘束に関しては、利用者本人の生命や身体を保護するため、緊急を要する場合に、切迫性・非代替性・一次性であることを条件に行う事を職員の共通認識とし、行った場合には記録に残すことにしています。また、次年度より保護者の方にはそれらを契約書に記載し、説明させていただきます。 *対象者がいる場合は組織的に決定し、個別支援計画に記載する体制があります。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	3	1	・食事提供は行っていませんが、おやつについては、保護者の方との確認の元、提供しています。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	0	0	・危険な事例があった場合、報告書に記載し、職員会議を通して職員間で共有しています。

○この「自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。